

## 安全データシート (SDS)

## &lt; 1. 化学物質等及び会社情報 &gt;

製品名 水系ハイエボンⅢ 主剤  
コード 3345-0000  
会社名 水谷ペイント株式会社  
住 所 大阪市淀川区西三国4丁目3番90号  
担当部門 品質管理課  
電話番号 06-6394-2653 FAX 番号 06-6391-3429  
緊急連絡先 水谷ペイント株式会社 SC統括部  
電話番号 06-6391-3151  
製品の種類 水系2液型エポキシ樹脂塗料 下塗 主剤  
推奨用途 建築塗装用 使用上の制限 推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと  
作成・改訂 2025年 4月 1日

## &lt; 2. 危険有害性の要約 &gt;

## 【GHS分類】

引火性液体 : 区分に該当しない  
急性毒性 経口 : 区分に該当しない  
経皮 : 区分に該当しない  
吸入(気体) : 分類対象外  
吸入(蒸気) : 区分に該当しない  
吸入(粉塵、ミスト) : 区分に該当しない  
皮膚刺激/腐食性 : 区分に該当しない  
眼損傷性/眼刺激性 : 区分2  
呼吸器感作性 : 分類できない  
皮膚感作性 : 区分に該当しない  
生殖細胞変異原性 : 区分に該当しない  
発がん性 : 区分1  
生殖毒性 : 区分に該当しない  
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) : 区分2(全身毒性)  
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) : 区分2(腎臓)  
誤えん有害性 : 区分に該当しない  
水生環境有害性 短期(急性) : 区分2  
水生環境有害性 長期(慢性) : 区分3  
オゾン層への有害性 : 分類できない

## 【GHSラベル要素】



危険

## 【危険有害性情報】

- ・強い眼刺激
- ・発がんのおそれ
- ・臓器の障害のおそれ
- ・長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ
- ・水生生物に毒性
- ・長期継続的影響によって水生生物に有害

## 【注意書き】

- ・容器からこぼれた場合には、砂などを散布したのち処理して下さい。
- ・取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- ・目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・よくフタをし、一定の場所を定めて貯蔵して下さい。
- ・子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ・中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・保管は直射日光を避け、冬期には凍結させないように5℃以上の室内に保管下さい。
- ・出荷後6ヶ月以内の出来るだけ早い時期にご使用下さい。
- ・環境への放出を避けること。

## &lt; 3. 組成、成分情報 &gt;

単一製品・混合物の区別：混合物

危険有害成分：

化学物質名	CAS No.	含有量(%)	備考
変性樹脂族ポリアミン	—	10 ~ 20	企業秘
酸化チタン	13463-67-7	5 ~ 20	
酸化亜鉛	1314-13-2	1 ~ 5	
結晶質シリカ	14808-60-7	1 ~ 5	
メタ-キシリレンジアミン	1477-55-0	0.1 ~ 1	
N-メチル-2-ピロリドン	872-50-4	0.1 ~ 1	
アンモニア	7664-47-1	0.1 ~ 1	
カーボンブラック	1333-86-4	~ 1	
硫酸バリウム	7727-43-7	5 ~ 20	

## &lt; 4. 応急措置 &gt;

目に入った場合：

- ・直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
- ・出来るだけ早く医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- ・付着物を布などで素早く拭き取る。
- ・大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。
- ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合：

- ・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

- ・誤って飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
- ・嘔吐物は飲み込ませない。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせない。

## &lt; 5. 火災時の措置 &gt;

特定の消火方法：このものには可燃性はない。

## &lt; 6. 漏出時の措置 &gt;

- ・作業の際は適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- ・漏出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
- ・スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。
- ・水での洗浄なども、河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。

## &lt; 7. 取扱い及び保管上の注意 &gt;

取扱い：

- ・換気の良い場所で取扱う。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・密閉された場所における作業は、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。
- ・皮膚、粘膜、又は衣服に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。
- ・取扱い後は手、顔等を良く洗い、休憩所等に手袋などの汚染保護具を持ち込まない。
- ・過去に、アレルギー病状を経験している人は取り扱わない。

保管：

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風の良いところに保管する。
- ・保管時の温度は5℃以下、あるいは40℃以上にならないようにする。

## &lt; 8. 暴露防止及び保護措置 &gt;

危険有害成分の暴露濃度：

化学物質名	管理濃度	ACGIH (TLV)
酸化チタン	—	10 mg/m <sup>3</sup>
酸化亜鉛	—	2 mg/m <sup>3</sup>
結晶質シリカ	—	0.03 mg/m <sup>3</sup>

設備対策：特別な対策は必要ない。

保護具：

- ・目の保護 ; 取扱いには保護メガネを着用する。
- ・皮膚の保護 ; 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- ・呼吸系の保護 ; スプレー作業を行う場合はミストなどの吸入を防ぐマスクを着用する。

## &lt; 9. 物理的及び化学的性質 &gt;

外観：

- ・物理状態；液体 ; 色 ; 製品名に記載
- ・臭い ; 僅かにアミン臭あり

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲：

- ・密度 ; 1.5 ~ 1.6 g/cm<sup>3</sup>
- ・溶解性 ; 水に分散する。

<10. 安定性及び反応性>

- 安定性 : 室温下での保存では安定性に問題はない。
- 危険有害反応可能性 : 製品自体は重合しないが、主剤と硬化剤を混合し、放置するとゲル化する。
- 避けるべき条件 : 加熱。密閉容器では圧力が異常に高くなり、破裂、引火の恐れがある。
- 混触危険物質 : 特に情報が得られていない。
- 危険有害な分解生成物 : 燃焼等により、CO、NO<sub>x</sub>等の有害性ガスを発生する恐れがある。

<11. 有害性情報>

- 眼損傷性 : 酸化チタン(区分2B)、ターキリレンジアミン(区分1)、N-メチル-2-ピロリドン(区分2A)、アンモニア(区分1)
- 発がん性 : 結晶質シリカ(区分1A)、カーボンブラック(区分2)
- 特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露) : 酸化亜鉛(区分1)、結晶質シリカ(区分1)、ターキリレンジアミン(区分1, 2)、N-メチル-2-ピロリドン(区分3)、アンモニア(区分1)
- 特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露) : 結晶質シリカ(区分1)、カーボンブラック(区分1)、N-メチル-2-ピロリドン(区分2)、アンモニア(区分1)、硫酸バリウム(区分1)
- その他 : 変性脂肪族ポリアミンは接触により皮膚障害の恐れがある。

<12. 環境影響情報>

- 水生環境有害性 短期(急性) : 酸化亜鉛(区分1)、ターキリレンジアミン(区分3)、アンモニア(区分1)
- 水生環境有害性 長期(慢性) : 酸化亜鉛(区分1)、ターキリレンジアミン(区分3)、アンモニア(区分1)
- ・漏洩時、廃棄などの際は、環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
  - ・特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処する。
  - ・本製品の分解性、蓄積性、魚毒性については情報を有していない。

<13. 廃棄上の注意>

- ・廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。
- ・廃水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

<14. 輸送上の注意>

- ・共通 : 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
- ・容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
- ・陸上輸送 : 法規に該当しない。
- ・海上輸送 : 法規に該当しない。
- ・航空輸送 : 法規に該当しない。
- ・国連番号 : 該当しない

<15. 適用法令>

- ・化学物質管理促進法 (P R T R 法)  
非該当
- ・労働安全衛生法  
通知物質(酸化チタン(IV)、酸化亜鉛、結晶質シリカ、ターキリレンジアミン、N-メチル-2-ピロリドン、アンモニア、カーボンブラック、硫酸バリウム)  
がん原生物質(結晶質シリカ)
- ・消防法 : 非危険物

<16. その他の情報>

主な引用文献

- ・(社)日本塗料工業会編集「GHS対応SDSラベル作成ガイドブック」
- ・(社)日本塗料工業会編集「SDS用物質データベース」
- ・溶剤ポケットブック

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

未知の有害性があるため、取扱いには細心の注意が必要で、ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い致します。



## 安全データシート (SDS)

## &lt; 1. 化学物質等及び会社情報 &gt;

製品名 水系ハイエボンⅢ 硬化剤  
コード 3345-0011  
会社名 水谷ペイント株式会社  
住 所 大阪市淀川区西三国4丁目3番90号  
担当部門 品質管理課  
電話番号 06-6394-2653 FAX 番号 06-6391-3429  
緊急連絡先 水谷ペイント株式会社 SC統括部  
電話番号 06-6391-3151  
製品の種類 水系2液型エポキシ樹脂塗料 下塗 硬化剤  
推奨用途 建築塗装用 使用上の制限 推奨用途以外で使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと  
作成・改訂 2025年 4月 1日

## &lt; 2. 危険有害性の要約 &gt;

## 【GHS分類】

引火性液体 : 区分に該当しない  
急性毒性 経口 : 区分に該当しない  
経皮 : 区分に該当しない  
吸入(気体): 分類対象外  
吸入(蒸気): 区分4  
吸入(粉塵、ミスト): 区分に該当しない  
皮膚刺激/腐食性 : 区分に該当しない  
眼損傷性/眼刺激性 : 区分に該当しない  
呼吸器感作性 : 分類できない  
皮膚感作性 : 区分に該当しない  
生殖細胞変異原性 : 区分に該当しない  
発がん性 : 区分1  
生殖毒性 : 区分1  
特定標的臓器/全身毒性(単回ばく露): 区分に該当しない  
特定標的臓器/全身毒性(反復ばく露): 区分に該当しない  
誤えん有害性 : 区分に該当しない  
水生環境有害性 短期(急性): 区分に該当しない  
水生環境有害性 長期(慢性): 区分に該当しない  
オゾン層への有害性 : 分類できない

## 【GHSラベル要素】



危険

## 【危険有害性情報】

- ・吸入すると有害
- ・発がんのおそれ
- ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

## 【注意書き】

- ・容器からこぼれた場合には、砂などを散布したのち処理して下さい。
- ・取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- ・目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
- ・よくフタをし、一定の場所を定めて貯蔵して下さい。
- ・子供の手の届かない所に保管して下さい。
- ・中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・保管は直射日光を避け、冬期には凍結させないように5℃以上の室内に保管下さい。
- ・出荷後6ヶ月以内の出来るだけ早い時期にご使用下さい。
- ・環境への放出を避けること。

## &lt; 3. 組成、成分情報 &gt;

単一製品・混合物の区別：混合物

危険有害成分

化学物質名	CAS No.	含有量(%)	備考
水性エポキシ樹脂	—	40 ~ 50	企業秘
エタノール	64-17-5	0.1 ~ 1	
エチレングリコール <sup>®</sup> ロピ <sup>®</sup> ルエーテル	2807-30-9	1 ~ 5	

## &lt; 4. 応急措置 &gt;

目に入った場合：

- ・直ちに大量の清浄な水で15分以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗う。
- ・出来るだけ早く医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：

- ・付着物を布などで素早く拭き取る。
- ・大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しない。
- ・外観に変化が見られたり、痛みがある場合は医師の診断を受ける。

吸入した場合：

- ・蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。呼吸が不規則か、止まっている場合は衣服をゆるめ、呼吸気道を確保した上で、人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込ませないようにする。直ちに医師の手当を受ける。
- ・蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：

- ・誤って飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受ける。
- ・嘔吐物は飲み込ませない。
- ・医師の指示による以外は無理に吐かせない。

## &lt; 5. 火災時の措置 &gt;

特定の消火方法：このものには可燃性はない。

## &lt; 6. 漏出時の措置 &gt;

- ・作業の際は適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- ・漏出物は密閉出来る容器に回収し、安全な場所に移す。
- ・付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置をする。
- ・スコップ、ウエス等で回収する。大量の流出には盛り土などで流出を防ぐ。
- ・水での洗浄なども、河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。

## &lt; 7. 取扱い及び保管上の注意 &gt;

取扱い：

- ・換気の良い場所で取扱う。
- ・容器はその都度密栓する。
- ・密閉された場所における作業は、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を着けて作業する。
- ・皮膚、粘膜、又は衣服に触れたり、目に入らないように適切な保護具を着用する。
- ・取扱い後は手、顔等を良く洗い、休憩所等に手袋などの汚染保護具を持ち込まない。
- ・過去に、アレルギー病状を経験している人は取り扱わない。

保管：

- ・日光の直射を避ける。
- ・通風の良いところに保管する。
- ・保管時の温度は5℃以下、あるいは40℃以上にならないようにする。

## &lt; 8. 暴露防止及び保護措置 &gt;

危険有害成分の暴露濃度：情報を有していない。

設備対策：特別な対策は必要ない。

保護具：

- ・目の保護 ; 取扱いには保護メガネを着用する。
- ・皮膚の保護 ; 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- ・呼吸系の保護 ; スプレー作業を行う場合はミストなどの吸入を防ぐマスクを着用する。

## &lt; 9. 物理的及び化学的性質 &gt;

外観：

- ・物理状態；液体
- ・色 ; 白色

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲：

- ・密度 ; 1.0 ~ 1.1 g/cm<sup>3</sup>
- ・溶解性 ; 水に分散する。

## &lt; 10. 安定性及び反応性 &gt;

安定性 : 室温下での保存では安定性に問題はない。

反応性 : アミン類、アマイド類、酸等と反応する。

危険有害反応可能性 : 製品自体は重合しないが、主剤と硬化剤を混合し、放置するとゲル化する。

避けるべき条件 : 加熱。密閉容器では圧力が異常に高くなり、破裂、引火の恐れがある。

混触危険物質 : 特に情報が得られていない。

危険有害な分解生成物 : 燃焼等により、CO、NO<sub>x</sub>等の有害性ガスを発生する恐れがある。

---

**<11. 有害性情報>**

急性毒性 吸入(蒸気) : エチレングリコールプロピルエーテル(区分3)  
発がん性 : エタノール(区分1)  
生殖毒性 : エタノール(区分1)

---

**<12. 環境影響情報>**

- ・漏洩時、廃棄などの際は、環境に影響を与える恐れがあるので取扱いに注意する。
- ・特に製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れないように対処する。
- ・本製品の分解性、蓄積性、魚毒性については情報を有していない。

---

**<13. 廃棄上の注意>**

- ・廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
- ・容器、機器装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さない。
- ・排水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をする。

---

**<14. 輸送上の注意>**

- ・共通 : ・取扱い及び保管上の注意の項の記載に従う。
  - ・容器漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
- ・陸上輸送 : 法規に該当しない。
- ・海上輸送 : 法規に該当しない。
- ・航空輸送 : 法規に該当しない。
- ・国連分類及び国連番号 : 該当しない。

---

**<15. 適用法令>**

- ・化学物質管理促進法 (P R T R 法)
  - 非該当
- ・労働安全衛生法
  - 通知物質(エタノール、エチレングリコールプロピルエーテル)
- ・消防法 : 非危険物

---

**<16. その他の情報>****主な引用文献**

- ・(社)日本塗料工業会編集「GHS対応SDSラベル作成ガイドブック」
  - ・(社)日本塗料工業会編集「SDS用物質データベース」
  - ・溶剤ポケットブック
- 

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。

未知の有害性がありうるため、取扱いには細心の注意が必要で、ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い致します。